

追悼文

遠藤銀朗

故中村和憲さんとは、1983-4年頃から始まった経産省（通産省）・JBAのプロジェクトであった「バイオルネッサンス」というプロジェクトでお会いしたのが初めてだったと思います。その後、国交相（建設省）の「バイオフィーカス」プロジェクトでも一緒にしましたし、いろいろな研究会活動や学会活動でも一緒にさせていただきました。中村さんとの思い出はたくさんありますが、1995年（だったと思います）につくばで開催した国際 Pseudomonas 研究会でのことは忘れられないものでした。その時には、今は亡き Al Chakrabarty 先生や、私のアメリカでのボスであった Simon Silver（健在）など多くの人が集まり、中村さんにはその国際会議だけではなく外国から来られた先生たちと夜の部を含めて共に大いに楽しませていただきました。

その後も、水環境学会、生物工学会、微生物生態学会、環境バイオテクノロジー学会など多くの機会でお世話になりました。学会ではよく率直に議論させていただきました。中村さんは議論好きでしたので、特に飲み会ではお酒が入った勢いもあって議論が白熱しました。それは、国外の学会に参加した時でも同じでした。そのような議論をすることによって、私は自分の研究の立ち位置や今後やるべきことをはっきりと知ることができたと思っております。

中村さんから頂いたいろいろなことに感謝いたします。そして、中村さんの御霊が安らかでありますことをお祈りいたしますと共に、私どものことをあの世から見守ってくださることをお願いいたします。